

件名 尾津干拓史今に伝える 10月6日(金) 主管 愛宕地区自治会連合会

～樋門そばに案内板設置～

愛宕地区自治会連合会(沖村和也会長)は、歴史と恩恵を忘れず、後世に伝えていこうと「なんわ荘」前にある樋門そばに「尾津干拓の歴史」を紹介する案内板を設置しました。事業費は市の地域ささえ愛交付金から30万円の補助金を充て設置し、秋雨の中、現地でお披露目式を開きました。

カラー写真も盛り込んだ案内板は、「19世紀初頭(江戸時代後期)までここは海でした」のタイトルで、岩国を治めた吉川藩が錦川河口の沖積を利用して干拓を進めたことを紹介しています。

また、設置の狙いは、かつての干拓の名残を往時をしのびながら訪ねてもらうことで地域の誇りや愛着精神を育て、コミュニティーをさらに深め、「愛宕地区の魅力を市内外に発信するチャンス」ともとらえています。

